

■ 附属中入試対策講座の日程

期	新潟校	青山校	内容	期	新潟校	青山校	内容
3期(4月)	4/10(日)		授業①	7期(8月)	8/21(日)		授業⑨
	4/17(日)		授業②		8/28(日)		授業⑩
	4/29(金・祝)附属中模試練習会(会場:新潟校)			8期(9月)	9/4(日)		附属中模試②
4期(5月)	5/8(日)		授業③		9/11(日)		授業⑪
	5/15(日)		授業④		9/18(日)		授業⑫
5期(6月)	5/29(日)		授業⑤	9期(10月)	10/2(日)益特訓復習会(会場:新潟校)		
	6/4(土)附属中算数・総合演習(会場:新潟校)		6/5(日)		10/16(日)		授業⑬
					10/23(日)		授業⑭
			6/12(日)		11/3(木・祝)		附属中模試③
6期(7月)	7/3(日)		授業⑦	10期(11月)	11/5(土)附属中模試復習会(会場:新潟校)		
	7/10(日)		授業⑧		11/6(日)		授業⑮
					11/13(日)		授業⑯
・中学受験公開模試 必須受験 4/24(日)、6/26(日)、9/25(日)、10/30(日) ・季節講習・特訓等は、別途ご案内を配布します。			11期(12月)	11/23(水・祝)		授業⑰	
				11/27(日)		授業⑱	

■ 附属中入試対策講座の詳細

※費用は全て税込価格で表記しています。



授業時間	9:00~12:00【4月~12月】	
場 所	能開センター新潟校・能開センター青山校	
受講費用(税込)	能開センター・個別指導Axis通常授業受講の方: 6,600円/月 附属中入試対策講座のみ単独受講の方: 9,900円/月+2,750円 (施設等教育関連諸費) ※単独受講の方は入会金(22,000円)がかかります。 ※附属中模試の費用は別途必要です(下記参照)。	
模試費用(税込)	①附属中模試(6/5、9/4、11/3の3回) …通常授業もしくは対策講座を受講の方: 4,400円/回 、模試のみの方: 4,950円/回 ②中学受験公開模試(4/24、6/26、9/25、10/30の4回) …通常授業もしくは対策講座を受講の方: 3,300円/回 ※時間等の詳細は別途ご案内します。 ※附属中入試対策講座を受講の方は、①②とも別途申込み不要です(必須受験)。 ※②は算数・国語の2教科受験になります。	
テキスト費(税込)	アインストーン(国・算) 1,518円×2科目 ※左記は昨年の価格なので変動する での順グラフ問題 公立中高一貫校対策(朝日学生新聞社) 1,620円 可能性があります。	
お申込み方法	別途お申込書をご提出いただきます。	
その他	附属中模試のみ受験することも可能です。 附属中入試対策講座で使用する教材の一部は、校舎で保管させていただく場合がございます。 附属中入試対策講座の受講期間中は、能開センター新潟校・青山校の自習室が利用可能です。	

能開センター新潟校

〒950-0088 新潟市中央区万代3-4-31
TEL.025-245-3328

受付時間

[火~金] 14:30~21:00
[土・日] 9:00~20:00



能開センター青山校

〒950-2003 新潟市西区東青山1-5-6
TEL.025-201-5011

受付時間

[火~金] 14:30~21:00
[土・日] 10:00~19:00



2023年度入試に向けて
〈新潟大学附属新潟中学校〉

入試対策講座

2022年度入試結果

能開センターの附属中対策講座受講生

附属新潟中 **27名合格** (外部受験者)

附属新潟中 外部合格生 新潟県NO.1

いよいよ能開センターの「附属中入試対策講座」がスタートします。
能開センターでは中学受験の誘導はしません。
受験の決定に関してはご家族で相談し、決定するものと考えているからです。
能開センターの中学受験に対する思想は、

**「受験をされる皆さまのために、
一人ひとりの合格に向けて、
適切な指導・演習・サポートを提供する」**ことです。

この講座も昨年の入試結果を踏まえ、内容を刷新しています。
附属中入試対策講座のコンセプトは、「**記述力UP**」と「**論述力UP**」です。
受験を検討している皆さんの参加をお待ちしています!



**4/10日より
開講!**



講座概要

この講座は、附属新潟中学校の入試を突破するために必要な実戦演習に特化した講座になります。現在の受験科目は、「国語」「算数」「総合」「面接」です。各科目の試験内容は昨今の大学入試制度改革に伴い、毎年若干ながら変化しています。それらを踏まえ、この講座では「記述力」や「論述力」を鍛えていきます。もちろん長年にわたる能開センターの受験データが学習時の大きな武器になることは言うまでもありません。この案内を熟読の上、安心してお子さまを預けてください。

講座のねらい

〔前期(4月～7月)〕で『**解答力**』と『**分析力**』を身につけ、
〔後期(8月～12月)〕で『**実戦力**』をつけ**合格する!**

前期は「**演習**」+「**解法指導**」
で解答作成の基本を学ぶ

- 実戦力をつける
- 得点を出し競争をしながら鍛える
- 試験の空気に慣れる



後期は「**模試**」の反復で
得点力をアップさせる

各科目のポイント

- 国語** 国語は、とにかく「書く」ことを要求されます。まずは、「書く」ことに慣れるための訓練が必要です。その上で「論理力」も同時に鍛えていきます。
- 算数** 算数は、魔方陣を埋めたり、規則性を書き出したりする「試行力」や「作業力」そして、埋めたり書き出す中でヒントを見つける「見通し力」を身につけます。
- 総合** 設定された条件に対する自分の考えを論述できるよう練習が必要です。また、ミニテストを毎回行い、知識量を増やします。
- 面接** 自分の中の倫理観や長所・短所をしっかりと把握し伝えることが大切です。ディスカッション・スピーチ・個人練習などで「伝える力」を向上させます。

授業

テスト

分析

- 出題傾向に合わせた解法を学ぶ
- 「総合」は基礎知識+論述
- 「面接」はディスカッションで鍛える

宿題は「**毎週回収**」
「**添削指導**」も
行います。

- 過去の生徒との得点比較
- 自分がどんなミスをしがちなのか把握する
- どのテーマを優先して克服するか考える

受講生の声～受験体験記より～



夏休み以降、附属中対策で本格的に過去問を解き始めました。すると算数は徐々に安定してきているものの、国語の得点が伸び悩んでいました。面接練習のときに相談すると、先生から「国語や総合の記述は添削指導するので、問題を解いたら提出してごらん」とアドバイスをいただきました。提出すると先生方が的確なアドバイスを書いてくださり、良い所は褒めてくださいました。アドバイスを聞いて何度も書き直すことで苦手意識がなくなり本番では自信が持てました。ぜひ先生方の添削指導を活用してみてください。

附属中対策で初めての総合問題。30分という短い時間でたくさんの記述問題を解かなければならないので、とても苦戦しました。過去問や模試などを何度も解き直し、いろんなジャンルの問題を解けるようにしました。また間違った問題をノートに写して、いつでも見直せるようにしました。記述は時事問題に特化し新聞はもちろん1カ月のニュースがまとめてある本を買い、読んで自分の意見を持ち言葉で表せるようにしました。秋頃にはテストでも空白なしで全て書き切れるようになり、自信をつけることができました。



2022年度 受験生のアンケートより

国語

- 能開のテキストや附属対策テストと同じような問題。
- 理由吟味記述が多かった。

算数

- 計算問題が少なく、最初の計算問題は3問だった。
- 図形問題が難しかった。

総合

- バイオマス発電と火力発電の違いについてもっと社会の事を勉強しておくべきだった。
- カーボンニュートラルの問題などの記述問題が出た。
- 図書館の利用マナーについての出題もあった。

面接

- 志望動機と、頑張りたいこと、それを将来にどう活かしたいかを聞かれた。
- タブレットを使って授業を受けているときに「先生の指示と異なるサイトを見ている生徒がいる」という場面設定に対して、面接官を「注意されるべき生徒」と見立てて、「話をしてみなさい」と言われた。



新潟大学教育学部附属新潟中模試

近年の過去問を参考に能開センターがオリジナルで作成した「国語」「算数」「総合」の3科目の模擬試験です。過去のデータをもとに判定も出ます。

会場
(予定)

第1回
6/5(日)
新潟校・青山校

第2回
9/4(日)
新潟校・青山校

第3回
11/3(木・祝)
新潟校・青山校